

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0533
施設名	上野保育園
施設所在地	台東区東上野6-20-7
法人名	社会福祉法人佳水会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
音への関心と音から広がる表現力を養う。楽器への興味を持たせる

2. 活動スケジュール

各クラスごと、クラスで考えたテーマに沿って先生と活動をしていく。先生との活動が終わったあと、保育者がテーマに沿って子どもたちの自主性に基づいた活動の手助けをしていく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
ピアノをはじめ、楽器を用意した。楽器の他にも音を鳴らせるものを探して使用したり、音に合わせてスカーフを用いたりして活動した。広い部屋で自由に動き回れる環境を作った。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

(幼児クラス)
音を聞いて同じ音やリズムで音を鳴らしてみる。
大きい音、小さい音での表現を変えてみる。
テンポの強弱を感じ取り変化に気づく。

(乳児クラス)
音を聞きながら動物の動きを真似てみる。
色んな楽器の音を楽しむ
リズムに合わせて音を出してみる

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

はじめは楽器の音にびっくりする姿も見受けられたが、楽しそうに音を聞きながら活動していた。スカーフを音に合わせてお花をひらひらさせる表現や、音がゆっくりになるとぞうのように表現する姿も見られた。お友達と一緒にうさぎになってジャンプをする姿や、リズムに合わせて活動する場面では保育者と一緒に歩いたり、走ったり、止まったりを繰り返し行っていた。遊び歌を通じて保育者とコミュニケーションを図る場面も見受けられた。





5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

音を自由に表現する、身近なことを音で表現することをテーマにクラスごと活動してきました。どんな音でも個々の表現方法に違いがあり、個性を見出せる場所ができたと思いました。普段は制限がある活動が主になってしまっていますが、自由の中に子供たちの本当の姿を見たと感じています。音を聞きながら自由な表現を通し、保育者も一緒になって活動することにより、色々な表現へと広げていくことができました。どのクラスも好きなフレーズやその週に行った活動を他の活動をしている時でも真似をしている姿が度々見受けられました。そして、そのフレーズを保育者が真似をすると注目をし、集中する姿も見られました。どの学年でもすぐに覚えてしまうフレーズが必ずあること、どうしてそのフレーズが好きなのか（覚えているのか）聞くと「楽しいから」「音がきれいだから」など個々の感想が聞けてとても良かったです。